

重点改革項目Ⅱ 市民との真のパートナーシップの形成

大項目	市民との情報共有と市民参画・協働の充実・拡大				No.	46	
中項目	市民参画・協働の充実・拡大				担当課	行政経営課● 男女共同参画課	
具体的な改革項目	附属機関等における公募委員導入率・女性委員割合の拡大(附属機関等の運営の適正化を徹底)						
現状と課題 (これまでの取組)	<p>「新潟市附属機関等に関する指針」(以下「指針」という。)や「新潟市附属機関等への女性委員の登用促進要綱」(以下「要綱」という。)を策定し、附属機関等における公募委員導入や女性委員割合の拡大を図るため、男女共同参画推進会議などと連携しながら周知徹底に努めてきた。</p> <p>今後も公募委員導入や女性委員割合の拡大を推進していくとともに、社会情勢の変化や附属機関等の役割を踏まえ、附属機関等の運営については適正化に向けた取組を強化する必要がある。</p>						
改革実施概要	改革の目的、考えられる効果	<ul style="list-style-type: none"> 附属機関等における公募委員導入率を高めるとともに、女性を積極的に委員選任することにより、市民が主体的に市政に参画できる機会を拡充し、公正で透明性のある附属機関等の会議運営がなされ、開かれた市政が推進できる。 また、指針の趣旨に基づき附属機関等の会議運営を適正に実施することにより、附属機関等の役割に応じた成果をあげることができる。 					
	取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> 定期調査や男女共同参画推進会議などを通して、指針・要綱の趣旨を庁内周知し、公募委員導入率・女性委員割合をさらに拡充 昨今の社会情勢や他都市の状況を踏まえ、附属機関等の適正運営を徹底(指針の見直しも含む) 					
	取組工程 (具体的な内容)	現状	平成25年度		平成26年度		最終目標/ 27年度以降
			計画	実績	計画	実績	
	<ul style="list-style-type: none"> 指針・要綱の周知徹底(事前協議の実施など) 定期調査の実施 新潟市男女共同参画推進会議での周知 女性人材リストの充実 委員養成講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 指針・要綱の周知徹底(事前協議の実施など) 定期調査の実施 新潟市男女共同参画推進会議での周知 女性人材リストの充実 委員養成講座の実施 附属機関等の運営の適正化に向けた指針改正の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 指針・要綱の周知徹底(事前協議の実施など) 定期調査の実施 新潟市男女共同参画推進会議での周知 女性人材リストへの登録の呼び掛け 女性の参画拡大に向けた講座の実施 附属機関等の運営の適正化に向けた指針改正の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 指針・要綱の周知徹底(事前協議の実施など) 定期調査の実施 新潟市男女共同参画推進会議での周知 女性人材リストの充実 委員養成講座の実施 附属機関等の運営の適正化に向けた指針改正の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 指針・要綱の周知徹底(事前協議の実施など) 定期調査の実施 新潟市男女共同参画推進会議での周知 女性人材リストへの登録の呼び掛け 女性の参画拡大に向けた講座の実施 附属機関等の運営の適正化に向けた指針改正の実施 	引き続き、定期調査や男女共同参画推進会議などを通して、指針・要綱を周知徹底するとともに、適正な附属機関等の運営を徹底する	
指標	附属機関等における公募委員の導入率	50.0%	52.0%	53.5%	55.0%	53.4%	55%以上を維持
	附属機関等における女性委員の割合	33.5%	37.0%	37.7%	40.0%	40.7%	前年度以上を維持
	附属機関等の運営の見直し	情報の収集	指針改正を検討	指針改正を検討	指針改正の実施	指針改正の実施	—

進捗管理	(各年度10月、年度終了後に実施)		平成25年度		平成26年度	
	取組の状況	上半期 (4~9月)	<ul style="list-style-type: none"> 事務担当者説明会・新潟市男女共同参画推進会議での指針・要綱の周知(5月) 定期調査を実施(7月)し、調査結果に基づき改善依頼を通知(10月) 女性人材リストの充実に向け、新たに団体への推薦依頼を実施 	予定通り進捗	<ul style="list-style-type: none"> 事務担当者説明会・新潟市男女共同参画推進会議での指針・要綱の周知(5月) 定期調査を実施(7月)し、調査結果に基づき改善依頼を通知(10月) 女性人材リストの充実に向け、各種団体等へ登録を依頼 	予定通り進捗
		下半期 (10~3月)	<ul style="list-style-type: none"> 女性の参画拡大に向けた講座の実施 定期調査結果を踏まえ、附属機関等の運営の適正化に向けた指針の改正を検討 	予定通り進捗	<ul style="list-style-type: none"> 女性の参画拡大に向けた講座の実施 定期調査結果を踏まえ、附属機関等の運営の適正化に向けた指針の改正を実施 女性人材リストの充実に向け、附属機関等の女性委員へ登録を依頼 	予定通り進捗

(年度終了後に実施)		平成25年度		平成26年度	
年度評価	取組工程、指標に対する評価	指針・要綱の周知徹底を図ってきたことにより、事前協議が徹底され、目標を上回る成果となった。	B	指針・要綱の周知徹底を図ってきたことにより、事前協議が徹底され、女性委員割合は目標を達成した。 一方、公募導入率は、専門性の高い附属機関の新設が多かったため、公募が導入できず、目標達成に至らなかった。	B
	課題、今後の方針、改善事項など	引き続き、指針・要綱の周知徹底を図り、事前協議を徹底する必要がある。 また、女性人材リストの充実を図るなど、附属機関等所管課のサポート体制を強化する必要がある。		引き続き、公募委員導入率や女性委員割合の拡大を図るとともに、附属機関等の運営の適正化に向け、指針を見直ししていく必要がある。 なお、公募委員導入率は公募導入が不可能な専門的な組織を除く等の指標の見直しを行う。	

(平成26年度上半期終了後に実施、下半期終了後に最終確定)		総合評価		平成27年度以降
計画期間の評価	取組工程、指標に対する評価	担当者説明会や男女共同参画推進会議において指針・要綱の周知を行い、事前協議や女性委員登用計画書による目標管理を徹底したことにより、計画通り成果も現れ、結果、女性委員の割合は目標を達成した。 一方、公募委員導入率については、平成26年度に前年度より減少しており、その理由として、公募導入になじまない専門性の高い附属機関が複数新設されたためであったため、今後は公募導入が可能な附属機関等における公募導入率に指標を改めることとした。	B	引き続き、公募委員導入率や女性委員割合の拡大を図っていく。 また、附属機関等の運営の適正化に向け、課題解決に向けた必要な取り組みを行う。
	課題、今後の方針、改善事項など	引き続き、公募委員導入率や女性委員割合の拡大を図るため、指針の周知・徹底のほか、女性人材リストの充実や無作為抽出による公募の実施支援など、附属機関等所管課をサポートする体制を強化する必要がある。 また、附属機関等の運営の適正化に向け、課題の抽出と課題解決に向けた必要な取り組みを行う必要がある。		